



かりや 景観れぼーと



テーマ
住宅編（その3）

VOL.10

発行日：平成14年10月1日
発行：刈谷市都市計画課
TEL (0566) 62-1022



建物の形状・外壁の作法

Point 1 まちなみとの調和に配慮しましょう。

Point 2 屋根に配慮しましょう。

Point 3 外壁に配慮しましょう。



今回のれぼーとは、「住宅」についての実践編を取り上げます。

住宅編の第3回目となる今回は、特に建物各部分に関する形状や色彩等の意匠についての作法を紹介します。

皆さんで、調和のとれた愛着と親しみの持てるまちなみにしていきましょう。

10月4日は
都市景観の
日です

周囲の風景や環境を捉え、調和のとれたまちなみにしましょう。

Point1 まちなみとの調和に配慮しましょう。

洋
風



勾配が急な切妻屋根で、建物全体の色彩が明るい洋風の住宅が並ぶまちなみは、周囲を明るい雰囲気にしてくれます。最近は、市内でも見かけるようになりました。

家の前を花や緑で彩ることで、明るく、素敵な景観になります。
(今川町)



まちなみとけあう均整のとれた奇桟屋根の住宅が建ち並ぶと、まちなみには色彩や形状などの統一感が生まれます。

純和風とは違った現代風の明るいまちなみは、どんな地域にも似合います。生垣などにより緑を増やすことで、魅力的なまちなみになります。
(小堀江町)

純
和
風



入母屋屋根を有した和風住宅のまちなみは、日本の風土にとけこむ優しいいたずまいである一方、重厚感と存在感があります。

石垣や生垣、土塀などを連続させることで、落ち着いた雰囲気になります。
(築地町)

Point2 屋根に配慮しましょう。

① 形状



二階屋根面が全て表向きで統一され、軒の高さが揃うと、まちなみには統一感と一体感が生まれます。
(野田町)



切妻屋根の三角形に見える面が表向きで統一されています。この山型の形状が連続することで、まちなみにはリズム感が生まれます。
(池田町)

② 色彩・素材



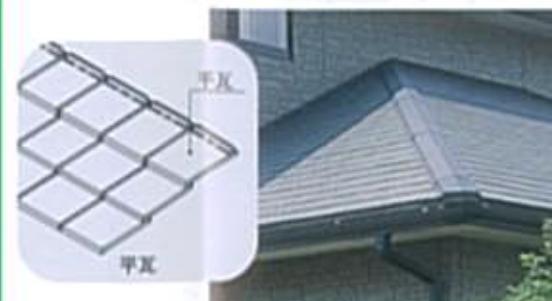
明るい暖色系のS形瓦を用いることで、欧風の雰囲気が感じられます。



銀鼠色の桟瓦を用いることで、どっしりとした落ち着きある和風のイメージが感じられます。



暖色系のスパニッシュ瓦を用いることで、陽気で明るいリズミカルなイメージが感じられます。



軽量でシンプルな形状をした平瓦は、建物全体を軽やかに感じさせます。

あなたの好きな風景を教えてください！

刈谷市内で、あなたが一番好きな風景を下のハガキに記入して、平成14年10月31日までにお送りください。

次号で「市民が選んだ刈谷の景観」として掲載を予定しています。

刈谷市の景観形成に関するアンケート

Q1. 刈谷市内で、あなたが一番好きな風景(景観)を1つ教えてください。

(1) 好きな風景 (例) 小堀江東小学校前の三連鳥居、今川町の古い街並み、万葉通り等

(2) 好きな理由

Q2. 刈谷市の風景(景観)を魅力的にするために、どんな取組みを行うことが必要だと思いますか?

(1) 市民が行えること

(2) 市に行って欲しいこと

Q3. 刈谷市にあるといいなあと思う風景(景観)を教えてください。

